

# スペース天文学

## X線観測の歩みと学んだこと



X線天文衛星「あすか」

1993



超軟 X 線観測装置 K-10-13

2016



X線天文衛星「ひとみ」

20世紀後半、大気の壁を越えた宇宙からの天体観測が始まると、天文学は新たな波長域の情報を得て大きく発展しました。今回の講演では、X線天文学の分野において第一線でご活躍された國枝 秀世氏をお招きします。

宇宙空間という過酷な環境の中で展開されるスペース天文学、特にX線観測における新たな観測手段開発の歩みをたどり、それらにより初めて明らかにされた激しい宇宙の姿を紹介していただきます。また、國枝氏が師匠と仰ぐ4人の先達の「語録」とその教えをお話しいたします。



講演

國枝 秀世氏

(財) 科学技術交流財団  
あいちシンクロトロン光センター 所長  
名古屋大学 参与

●内容に関するお問い合わせ

名古屋大学大学院理学研究科 U 研 担当：中澤  
E-mail sakata-hayakawa2021@u.phys.nagoya-u.ac.jp

●申込方法、会場に関するお問い合わせ

名古屋市科学館 学芸課天文係 担当：高羽  
電話 052-201-4486 (代)

2021.12.19 日 14:00 ~ 16:30  
(開場 13:30)

名古屋市科学館 サイエンスホール

対象：高校生以上

定員：100名 申込多数の場合は学生・教員を優先に抽選

参加費：無料 科学館への入館には所定の観覧料が必要



お申し込みは

講演会ウェブサイトから

<https://www.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa18/>

申込締切

12月4日(土)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、内容が変更になる場合があります